

事業番号	11 07 10	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の景観育成支援事業				担当課	部局	建設部	
						課・室	都市・まちづくり課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 4 次代につなぐ景観育成の推進			実施期間	H4 ~		

1 事業の概要

目指す姿	景観育成住民協定の締結支援、地域景観リーダーの養成、修景事業への補助など、地域住民が景観育成活動の主体となって行動するために必要な支援を行うことにより、それぞれの地域において、市町村や住民など様々な主体が協働し、景観の保全や地域特性を生かした景観の創出につなげる取組が行われることを目指す。
------	---

現状	地域住民は、地域景観を最も享受する立場にあるとともに、日々、地域景観を創出し保全している主体である。地域住民が日常的に景観を意識することにより、地域景観に変化や影響を及ぼすような行為に対して住民の目が行き届き、美しい景観の保全、形成が図られる。
----	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：検討中	県は、景観法の運用主体である景観行政団体でもあり、自ら景観行政を進める必要がある。また、地域によって異なる景観を、全体として信州・ふるさと景観として育成していくためには関係市町村間の調整が不可欠であり、市町村の区域を包括している県の関与が必要である。

事業内容	① 成果目標 (H25)				
	景観行政団体市町村数 16市町村：毎年度1団体増加				
	② 事業内容 (単位：千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績	H25	
				(当初)	(決算)
			H26		
			(当初)		
1 景観育成住民協定の認定	直接	住民協定状況調査の実施(認定申請はなし)	63	0	65
2 地域景観協議会の運営	直接	地域景観協議会の運営(10地域)	327	217	329
3 地域景観リーダー研修会の開催	直接	地域景観リーダー研修会の開催(2回、延べ54人出席)	490	413	0
4 地域景観整備事業補助金プロジェクト2-1	補助金	修景補助の実施(2件)	554	21	550
		合計	1,434	651	944

事業コスト	区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	3,923	1,099	1,434	944
	補正予算	0	0	0	
	合計(A)	3,923	1,099	1,434	944
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他(寄付金)	332	0	0	0
	一般財源	3,591	1,099	1,434	944
	決算額(B)	2,459	719	651	
概算人員数	職員数(人)	1.20	0.70	1.20	1.20
概算人員費(C)	9,910	5,781	9,910	9,910	
概算事業費(B(A)+C)	12,369	6,500	10,561	10,854	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
景観行政団体市町村数	15市町村	16市町村	17市町村	達成	18市町村

目標に対する成果の状況	平成25年度は2市が景観行政団体に移行したことにより、景観行政団体である市町村は17市町村となり、目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成26年度は事業を見直し(地域景観リーダー育成事業の廃止)、地域の自立的な景観育成の推進に向けた効率的な事業の推進を図る。 平成27年度以降は、総合5か年計画の達成目標(平成29年度末までに景観行政団体:20市町村)に向け、毎年度1市町村以上の増を目指して、市町村に対する積極的な移行支援等を行っていく。